

今月号と9月号は、阿賀野高校の活性化に向けての取り組みの現状について取り上げます。

みんなで考え、応援しよう。地元の高校！

新潟県議会議員 帆苅 謙治

九一年(明治四四年)水原農学校を前身として創立。一〇〇五年、安田高校と統合して現在に至ります。創立以来一〇九年の歴史を有し、これまで地域で活躍する有為の人材を数多く輩出してきました。



阿賀野高校 校舎全景

九一年(明治四四年)水原農学校を前身として創立。一〇〇五年、安田高校と統合して現在に至ります。創立以来一〇九年の歴史を有し、これまで地域で活躍する有為の人材を数多く輩出してきました。

しかしながら、少子化の波を受け、近年は生徒数が大幅に減少する傾向にあり、本年四月一日現在の生徒数は、一年生五八名、二年生五五名、三年生五二名(全校生徒数一六五名)となっています。このため、歴史ある地元に唯一の高校を存続させるべく、これまで県に働きかけを行つてきました。

本年四月から、「総合選択制の高校」として未来に夢と希望を抱きながら、新たな学習内容で充実した学校生活を送つてゐる生徒の皆

さんの姿が思い浮かんできます。

これまでの経過

◆「意見交換会」の開催

昨年は、県教育委員会教育長および関係職員・学校関係者、市長、議長、総務文教常任委員会委員長、阿賀野経営者同友会等の皆さんが出発し、「阿賀野高等学校を活性化する意見交換会」が三回開催されました。

「総合選択制の高校」としての利点を最大限にいかして、より魅力的な高校にしていくための方策について、参加者の皆様から様々なる御意見をいただきました。

阿賀野高校の3年間の学校生活(イメージ)

1年生
地元産業に興味のあるAさん
地元企業の人から話を聞く授業もあります。

2・3年生
「地域探究コース」
進路目標の実現
企業に就職!
地元企業でのインターンシップ。ここで作られた部品が世界を支えていることを実感。
地域産業を支え、地元を元気にするぞ!
阿賀野市、地元企業と連携して新商品の企画を検討中。地域経済について体験をとおして学びます。
共同開発した商品を実際に販売します。P.R.の工夫についても授業で学びます。

「教養コース」
大学・専門学校等に進学!
阿賀野市役所でインターンシップ。地域経済の仕組みに興味を持ちました。
経済学部に進学!
将来は大学で学んだことを地域に活かしていきたいです!

地域活性化に興味のあるBさん
自分の志望する進学先に合わせて、2年からは科目を選択したいです。
これから社会で重要な生きる英会話も楽しく身につきます!

学習内容の特徴

生徒や学校、地域の実態及び学科の特色を踏まえ、阿賀野高校でしか学習することができない科目(学校設定科目)が三つあります。これは、一年生全員が学習する「自分デザイン」、二年生全員が学習する「未来デザイン」、二年生からは「地域探求コース」と「教養コース」に分かれますが、前者に進んだ生徒が三年生になってから学習する「地域デザイン」からなります。

これは地元企業等とコラボしながら、商品の企画開発等を学んでいくもので、いくもののです。他では学ぶことのできないこれらの学びを通じて、阿賀野高校生は、自分の夢をじっくり育て、地域社会で活躍できる素地を持つことができるようになりました。

地域デザイン

三年生の「地域探求コース」選択
者が学習する「地域デザイン」という科目は、現在、生徒会の生徒が中心となって阿賀野市や地元企業と連携を図りながら実施している商品の企画開発等について、商業科目での学びと結びつけながら、「阿賀野高校ブランド」を目指すなど、地域連携に関するより実践的な学びを進めていく科目です。

未来デザイン

二年生全員が学習する「未来デザイン」という科目は、現在も実施しているインターンシップの取組を授業として実施し、これまで以上に事前事後指導を一層充実させることで、主体的・探究的な活動とすることともに協調性を育むことを目的とする科目です。

自分デザイン

一年生全員が学習する「自分デザイン」という科目は、地域人材の活用による講演などをとおして、地域社会や地域課題について学習するとともに、「ミユーケーションスキルに関する学びなどで自己理解を深め、じっくりと自分の将来について計画を立てたための科目です。

阿賀野高校 地域キヤリア教育 意識啓発講演会開催



講演者の思
いに、参加
者は熱心に
耳を傾けて
いました。

阿賀野高校では、阿賀野経営者同友会と協力しながら、地域キヤリア教育に取り組んでいます。そしてその一環となる「意識啓発講演会」が7月7日、一年生の約60名を対象に開催されました。

これは一年生にとって、今後予定される企業見学やインターンシップなどの学習に先立つ、最初のキヤリア教育と位置付けられています。

この日は阿賀野経営者同友会から3つの企業の代表者が自らの経験をもとに講演を行い、「将来への夢や目標を意識しない」という

「校内居場所カフェ」をオーブンさせる準備を進めております。

困ったことや心配ごとがあれば、先生に相談しなくては、相談室の予約を取らなくては、地域の大人たちがいつも生徒の話を聞いてあげられる居心地の良い場所が「校内居場所カフェ」です。



NPO法人パノラマHPより引用

市民の声

地域に根ざし、地域から愛され、 地域から期待される阿賀野高校

本間 由香里

阿賀野高校でPTA会長（一期目）をさせていただいております。

現在、「PTA」「高校」「地域（あぬー）」という団体を立ち上げ、高校の中に家庭でも学校でもない第三の居場所

教員の働き方改革がクローズアップされている今、多忙な先生方に代わって、悩みを聞いたり相談を受けたりしながら、先生方の補完的な役割を果たしたり、また逆に、先生とは異なる役割を担うことができます。

また、先生とは違い、「校内居場所カフェ」のスタッフは

地域の住民だから異動があります。ですから長期に亘つて生徒と触れあうことができません。弱いながらもつながりを長く維持して、卒業後でも何かあったときに来てもらえる…セーフティーネットにもなります。

「GNJ」は動物のヌーのこと、「A」は単数を表すので、直訳では「一頭のヌー」。ヌーと仲間と合流し、やがて巨大な群れで行動する習性を持つてゐるそうです。誰かと一緒になくとも、一人でも、知り合いがいなくても集つてほしい。



NPO法人パノラマHPより引用

教員の働き方改革がクローズアップされている今、多忙な先生方に代わって、悩みを聞いたり相談を受けたりしながら、先生方の補完的な役割を果たしたり、また逆に、先生とは異なる役割を担うことができます。

困ったことや心配ごとがあれば、先生に相談しなくては、相談室の予約を取らなくては、地域の大人たちがいつも生徒の話を聞いてあげられる居心地の良い場所が「校内居場所カフェ」です。

最後に、団体名「AGN」の由来を紹介します。

全國各地で広まつてきてゐる「校内居場所カフェ」です。いざ始まつてみないとどんな形になるのかわからないのですが、生徒ファーストで阿賀野市という地域に合つた支援をしていきたいと思つています。

『AGN』は阿賀野(AGN)のあなた(達)(=YOU)の居場所だよ…

全市民、友と友、手を取り合い、阿賀野市活性!

阿賀野市が元気になる、提案・意見をお寄せ下さい。

特定の思想・主義の主張や、他者への非難や批判ではなく、あくまでも建設的な内容に限ります。文字数は400字以内です。

ほかりけんじ事務所
〒959-2221 阿賀野市保田 737-2
TEL:68-5441 FAX:68-5515
<http://www.hokaken.jp/>



花角知事を迎えての市観光協会との懇談会(長生館)

最近の活動報告

七月十六日、花角英世

新潟県知事、田中市長と共に市内各地を視察し、新型ウイルス禍の現状をお聞きしました。

五頭温泉郷では、知事

より、GOTOトラベルは県内需要を優先する方が県民の不安解消になる。県の対策費4億円に引き続き追加予算を検討しているとのお話を頂きました。今後とも、県と市のパイプ役を積極的にはたす所存です。

◎「ほかりけんじ・県政便り」は、新聞折り込みでお届けします。